Distorted Drug Evaluation 奎められる医薬品評価

産官学連携への警鐘

Whistle Blowing in the Powerful Government-Industrial-Academic Complex

「産官学連携」がもてはやされています。その一方で、利益相反が医薬品評価を歪める危険性が指摘されています。 日本では規制のためのルールづくりが始まったばかりだが、先を行く米国やEUの現状はどうなのか?課題は何なのか?

第1部 利益相反問題 — 米国・EU・日本からの報告

利益相反問題を初め医薬品監視に取り組む米国とEUの代表的組織からゲストを招いて報告を受けます。

第2部 徹底討論! 利益相反問題・薬害防止

くりかえされる薬害の原因と防止について、第1部のシンポジストが会場の参加者とともに討論します。



ピーター・ルーリ Peter Lurie (米国) パブリックシチズン ヘルスリサーチグループ 副ディレクター



クリストフ・コップ Christophe Kopp (EU) プレスクリール・インターナショナル



薬害オンブズパースン会議 事務局長



医薬品・治療研究会代表



薬害オンプズパースン会議代表

ベルサール九段

2008年6月8日(日)

13:00~17:00 ベルサール九段 (ホール)

東京都千代田区九段北1-8-10 住友不動産九段ビル3F

●参加費無料

●事前申込不要

●同時通訳付



「主催」薬害オンブズパースン会議

「後援」医薬品・治療研究会(TIP正しい治療と薬の情報)/NPO法人医薬ビジランスセンター(薬のチェック) 問合せ先:薬害オンブズパースン会議事務局 TEL 03-3350-0607 FAX 03-5363-7080 URL http://www.yakugai.gr.jp/